



令和4年9月27日
陸上幕僚監部

令和4年度方面隊実動演習（西部方面隊）（前段）の概要について

陸上自衛隊は、不確実性を増す安全保障環境の中、各種事態へ実効的に対応するための抑止力・対処力を一層強化すべく、以下のとおり令和4年度方面隊実動演習（西部方面隊）（前段）を実施しますので、お知らせいたします。

1 目的

島嶼侵攻事態対処に係る演習を実施し、各種事態への対処能力の向上を図る。

2 時期

令和4年10月2日（日）～10月9日（日）

3 場所

西部方面区域内の駐屯地、演習場等

4 担任官

西部方面総監 陸将 たけもと 竹本 りょうじ 竜司

5 演習部隊

西部方面隊、陸上総隊・北部方面隊・中部方面隊の一部等

6 特色

- (1) 島嶼防衛作戦に係る西部方面隊最大規模の実動演習
- (2) V-22（オスプレイ）を使用した空中機動等の訓練を実施

7 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 防衛省・自衛隊が定める方針に基づき必要な感染症対策を十分に講じて参加
- (2) 新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる隊員が発生した場合は、事前に準備した施設に隔離してPCR検査等を受検させるとともに、濃厚接触者と疑われる隊員を速やかに特定・隔離して感染拡大を防止
- (3) 陽性者が発生した場合は、所在地域の保健所の指導等に基づき隔離するとともに、重症化した場合は、速やかに近傍の救急対応病院等に搬送